

公益財団法人 山口育英奨学会  
令和3年度 事業計画書  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

公益目的事業に関する事項

1 育英奨学事業

(1) 貸与奨学金事業

高等専門学校、短期大学、大学、大学院に在学する者およびこれらに相当する外国の教育機関に留学する者に奨学金を貸与する。

①本年度貸与予定者数と貸与予定額

本年度の奨学生新規採用は、40名を予定し、4月中に募集を行い選考委員会で選考のうえ、理事会において決定する。

奨学生新規採用者および奨学生継続者には月額50,000円を貸与する。

また、次年度奨学生の募集にあたっては一部を予約募集として、大学進学予定者を対象に9月に募集をする。

区分	新規採用 予定者	継続 貸与者	合計	令和3年度 貸与予定額	令和2年度 貸与予定額
大学院生	5名	5名	10名	5,200,000円	4,800,000円
大学生	27名	71名	98名	58,450,000円	57,950,000円
短大生	1名	1名	2名	1,200,000円	1,200,000円
高専生	1名	1名	2名	1,200,000円	600,000円
留学生	6名	13名	19名	9,000,000円	9,250,000円
計	40名	91名	131名	75,050,000円	73,800,000円

②返還免除

奨学生全員に、1年間の貸与額に対して1ヵ月分(50,000円)の返還を免除する。  
また、本年度の奨学生集會に参加した者にはさらに2ヵ月分(100,000円)の返還を免除する。

③貸与奨学金の本年度返還予定者数と返還予定額

区 分	返還予定者	返還予定額
大学院生	35 名	4,510,000 円
大学生	159 名	35,260,000 円
短大生	0 名	0 円
高専生	3 名	340,000 円
高校生	5 名	450,000 円
留学生	37 名	6,700,000 円
計	239 名	47,260,000 円

(2) 奨学生集会

奨学生の育成・研修をはかるため、夏休み期間中に当会本部において1泊2日で奨学生集会を開催する。参加者は80名を予定している。

内容は講演会、役職員との懇談、郷土資料館の見学および山林における自然環境保護活動や体験学習および奨学生同士の交流を組み入れたプログラムとする。

(3) 機関誌の発行

奨学生の育成、交流および公益活動周知のため、機関誌「山びこ」第54号を12月に発刊し、奨学生、元奨学生および関係者に配布する。

2 研究助成事業および自然環境保護活動助成事業

(1) 自然科学の研究活動を行う研究者に対して助成金を交付する。

助成予定件数 20 件 助成予定額 1 件 800,000 円 総額 16,000,000 円

(2) 自然環境保護活動を行う団体に対して助成金を交付する。

助成予定件数 10 件 助成予定額 1 件 500,000 円 総額 5,000,000 円

(3) 上記(1)(2)のほか当会の事業目的に合致する活動を行う団体に対して助成金を交付する。

(4) 前年度に助成した自然科学の研究活動を行う研究者および自然環境保護活動を行う団体の活動報告会を開催する。

### 3 郷土資料館、庭園および山林の運営管理事業

- (1) 資料館・庭園および遊歩道を4月中旬から11月下旬まで一般公開する。  
資料館を案内するガイドを配置して見学者の便に供する。
- (2) 里山の自然に親しんでもらうイベントとして植物観察会、野鳥観察会等を開催する。  
専門家にガイドを依頼する。
- (3) 庭園および「山びこ館」の周辺整備を行う。
  - ① 「山びこ館」北側の法面の補強工事を行う。
  - ② 見学者憩いの場としての「東屋」周辺の芝貼りを行う。
- (4) 資料館施設「観音堂」の建て替え建設工事を行う。
- (5) 資料館「雪国くらし館」の外壁(なまこ壁)の補修を行う。
- (6) 庭園・遊歩道の作業用機材を購入する。
  - ① ウッドチップパー(粉碎機)を購入し樹木の剪定枝・廃材をチップ化しチップ材として遊歩道に敷く。
  - ② クローラ運搬機を購入し資材等の運搬作業の効率化をはかる。
- (7) 寄附により受け入れした隣接する土地を整備して景観と自然環境の保全を行う。
- (8) 当会の公益活動をより広く周知させるために広報活動を行う。

以上